

# 茶病虫害防除情報

【第 4 号】

平成 31 年 4 月 25 日

鹿児島県経済連・肥料農薬課

良質夏茶の安定生産に向けた

## 一番茶後の病虫害防除対策

順調にすすんできました一番茶の生産は早場産地で後半になり、中間・遅場産地でも最盛期を迎えました。今年も諸々の厳しい条件での生産になりましたが、皆様の努力・工夫で良質茶の生産がすすめられました。5月から新元号の令和に代わり、間もなく10連休となりますが、茶業関係の皆様には最も繁忙期で、本当にご苦労様です。今回は一番茶後の病虫害対策についてお知らせします。

### ◎ 病虫害の発生概要

一番茶期は幸い今年も病虫害の発生被害は殆どみられませんでした。しかし気温が上がり、病虫害の発生が多くなる時期になりました。

**ハマキムシ類**は最近やや多くなってきています。病虫害防除所の5月の発生予察情報では、第1世代の発生量は**チャノコカゲソハマキ**「並」、**チャハマキ**「やや多」、発生時期は「やや早い」の予報です。各産地とも刈番茶の摘採直後頃がふ化～若齢幼虫発生期で、防除の適期になります。

今年の**カンザワハダニ**の発生は一番茶前まではやや多発生に経過しました。その後一番茶期は晴天が続いたため発生はやや増加が懸念されます。県病虫害防除所の発生予察情報では「やや多」となっています。例年一番茶摘採後の今頃からが発生ピークになり、その後減少していきますので、しばらく発生に注意が必要です。

**ヒゲダニ類**はこの数年多発生が続いています。これから乾燥した晴天が続くと一番茶後に急に発生が多くなる恐れもありますのでダニ同様しばらく茶園観察など注意が必要です。

発生が拡大している**チャトゲコジラミ**は県内の殆どの産地で寄生がみられるようになり、一部地域では煤病を伴い、成虫が一番茶新芽に群生・乱舞する多発園もみられるようになっていきます。今年はかなり注意が必要で、発生が確認されている地域、園では防除に努めてください。

### ◎ 基本的防除対策

#### ① ハマキムシ類の防除法

ハマコン N 使用園は防除の必要はありません。ハマキ天敵利用園や薬剤防除園では地域のフェロモントラップによる予察情報を活用し、発蛾最盛日 16～22 日後に防除します。防除適期の予想は早場産地が 5 月 1～2 半旬、中間・遅場産地が 5 月 2～3 半旬頃になると思われますが刈番茶摘採後頃を目処にしてください。

#### ② カンザワハダニの防除法

一番茶摘採後 5 月上中旬頃が発生ピークになりますので、発生がみられる園では刈番茶摘採後早目に防除します。天敵（カブリダニ類など）の働きが活発になる時期であるため天敵に影響の少ない薬剤を選びましょう。なお、発生は天敵の活動と梅雨の影響で 5 月下旬～

6月頃には自然に減少しますので5月下旬以降の防除は必要ありません。

### ③ サビダニ類の防除法

一番茶摘採後頃に急増し、摘採残葉の褐変・萎縮・落葉などの被害を生じることがあります。茶園が褐色化するなどで発生に気づいたら早めに防除します。通常はカンザワハダニと同時防除できますが、発生が多い場合は専用剤での防除が望ましいです。

### ④ チャトゲコナジラミの防除法

一番茶摘採期頃に成虫が発生し、5月上中旬頃が防除適期である若齢幼虫発生期になります。クシカウガラミの防除適期であるふ化最盛期と発生が概ね同調しますので、同時防除を狙った防除が可能です。

表 一番茶後の病害虫防除法

病害虫名	防除薬剤	希釈倍数	使用基準	使用上の留意事項
チャノコカクモンハマキ チャハマキ	ハマキ天敵	1000～2000倍	前日 ー	① ハマキムシ類に影響の大きい薬剤の混用・近接散布は避ける。 ② ふ化から2齢迄の若齢期に散布する。 ③ 発蛾最盛日の16～22日後が散布適期。
	チューンアップ <sup>®</sup> 顆粒水和剤	2000倍	前日 ー	① BT剤は若齢幼虫期散布の効果が高い。 ② 天敵類への影響が少ない。 ③ 有機栽培、米国輸出茶栽培に使用可。
	エスマルク DF	1000倍	7日前 ー	
	ゼンターリ <sup>®</sup> 顆粒水和剤	1000倍	7日前 ー	
	デルフィン <sup>®</sup> 顆粒水和剤	1000～2000倍	前日 ー	
	サブリナフロアブル	1000倍	7日前 ー	
	レピグリーン DF	500～1000倍	前日 ー	
	エクシレル SE	2000倍	7日前 1回	① ジアミド系薬剤(フェニックス・エクシレル)は一部地域(枕崎)では感受性が低下しているため、注意する。
	フェニックスフロアブル	2000倍	7日前 1回	
	スピノセスフロアブル	2000～4000倍	7日前 2回	
カンザワハダニ	ダニサラハ <sup>®</sup> フロアブル	1000～2000倍	7日前 2回	① <u>マイトコーネは遮光栽培では遮光開始14日前までに使用する。</u> ② 同一系統薬剤の使用は年1回とする。
	ダニコング <sup>®</sup> フロアブル	2000～4000倍	7日前 1回	
	マイトコーネフロアブル	1000倍	※14日前 1回	
	スターマイト <sup>®</sup> ラスフロアブル	1000倍	14日前 1回	
	アグリメック	1000倍	7日前 1回	
サビダニ類	サンマイトフロアブル	1000～2000倍	14日前 2回	
	ハチハチ乳剤	1000～1500倍	14日前 1回	
	スターマイト <sup>®</sup> ラスフロアブル	1000倍	14日前 1回	
	ダニゲッターフロアブル	2000倍	7日前 1回	
チャトゲコナジラミ	アプロート <sup>®</sup> エスフロアブル	1000倍	14日前 2回	① 400L/10a 散布

備考 ☆ ハマキ天敵と混用または近接散布(7～10日以内)

可能な薬剤・・・サンマイトフロアブル ピラニカEW ミルバノック乳剤 マイトコーネフロアブル カネマイトフロアブル  
ダニサラハ<sup>®</sup>フロアブル ダニゲッターフロアブル バリュースターフロアブル

避ける薬剤・・・スプラサイト<sup>®</sup>乳剤 ダース<sup>®</sup>ハン乳剤 ハチハチ乳剤 アグリメック ハマキムシ類防除剤